

## 雪崩、搬出トレーニング

日程：2008/1/19～20

メンバー：L 志満、SL 白土、奥平、斉藤

20日のみ、山本、菊池、平本

工程：1/18（金）天神平ロープウェイ駅にて

前夜泊

1/19（土）土合駅～天神平駅（ロープ

ウェイ）～天神尾根、テント設

営後付近にてトレーニング

1/20（日）山本、菊池、平本合流後、

トレーニング、テント撤収、ロ

ープウェイにて下山

1/25000 地図：水上、茂倉岳

今回、天神尾根にて行われた雪崩、搬出トレ

ではビーコン、ゾンデの使用方法、弱層テス

ト等の習熟の他、雪崩に対する認識を深める

事が出来ました。

1/19（土）

土合駅よりロープウェイにて天神平駅へ。駅

からスキー場の脇をラッセルしながら天神

尾根へと登る。スキー場をぬけた所にテント

を設置する。昨年末、雪訓を行った場所だ。

雪訓の時には、その付近は雪訓用ゲレンデと

化して、賑やかなものであったが、今回は静

かなものだ。早速、志満さんの講師の下トレ

ーニングへと取り掛かる。まずは、弱層テス

ト。テスト方法は、円柱テスト、シャベルコ

ンプレッションテスト、スキージャンプテス

トだ。積もった雪の断層をテスト方法に合わ

せた大きさ、形に掘り出し、それぞれの方法

にて力を加え、雪の層の強弱を判断するもの

だ。テストを行いながら、雪の断層を観察し

てみると、まるで、地層の様に、色んな質の

雪が水平に縞模様を描いている事が分かる。

その雪の層を見て「ここの層は年末の大雪の

時のものだな。」などと推測する事が出来る。

弱層テストを行う事により「どこに弱層があ

るか？」を知る事が出来る。その事をベース

に、雪崩の起き易い気象条件、積雪条件を割

り出す大きな材料となる事だろう。その後ピ

ーコントロールを行う。ビーコンを雪に埋め遭難者に見立て検索するというものだ。宝探しゲームの様でなかなか楽しい。ビーコンの使い方も年に一度は練習した方がいいだろう。山に入る際の作動チェックも絶対に忘れてはならない事だ。ゾンデ棒の使い方を学び埋没者初動捜索の訓練へと続く。雪崩の現場に居合わせた場合の事を見立てた訓練である。このような訓練の経験が緊急時の対応に役立つだろう。その後、テント内にて机上学習を行う。志満さんを講師に雪崩や低体温症に関する講習をもらった。出来る事ならば、経験したく無い内容の話が多かったが、雪崩に対する認識を持たない事が一番怖い事だろう。続いて白土さんにアマチュア無線の講習をしていただく。あまり触れた事の無い無線の世界は知らない事だらけで面白い話だった。無線は緊急時には、これ程強い味方はないだろう。講習を終えて楽しい夕食と宴会むかえた。

1/20(日)

私にとって初となる埋没体験を行う事に。名前の通り、雪に埋められる体験である。大人二人が寝られる程の広さで深さ 1m 位の穴を掘る。後で自分が埋められると思うと正直、気がすすまない。堀終えた穴の底にうつ伏せに寝て手で顔を覆うと、上から雪を被せられる。じょじょに雪の重みを感じ、最後には体をピクリとも動かす事が出来ない。光も遮られ体温も奪われていく。少し時間をおき掘り起こしてもらおう。終わってみると、「一度は経験しておくべき事だな。」とおもったが、実際の雪崩でうまった事を想像すると、よりリアルに恐ろしさを感じる様になった。そうこうしている内に山本さん、菊池さん平本さんが到着する。休む暇なく変わりばんこに埋没体験をするはめに。一通り埋没体験が済み、全員が集合したという事で、先発組の人が後発組の人へマンツーマンで弱層テスト方法を教える事に。勿論私も教える側にまわるのだがまさ

か自分が教えるとは、思ってなかっただけに緊張してしまう。その後、全員でビーコン、ゾンデ使用法の練習に。私は前日の復習が出来、覚えの悪い私でも多少自信が持てる様になった。最後に菊池さん考案のスキーによる負傷者搬出法を見せてもらう。これで、2日間のトレーニングを終えて山を下りる事に。このトレーニングで志満さんをはじめ講師を務めていただいた方々大変ご苦労様でした。いい勉強になりました。